

# やすらぎだより

11  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

コラム第137号

## 「プロのライター」

施設長 植田 誠



先日、全国社会福祉協議会が発行する福祉法人関係誌の取材を受けた。モデル事業を切っ掛けに、これまでの私ども法人の取り組みを紹介する記事だという。勿論、お断りする理由はどこにもない。二つ返事で快諾した。取材日当日、理事長に同席を依頼しモデル事業のことは主担当のY氏に任せ、私はやすらぎ会を回顧しながら現状の一端を述べた。

「私たちの法人は、もともと‘中風’の方々のおたすけが目的で始まったのです」

創始者から聞き伝わっている元一日を思い返した。今では聞き馴染みのない‘中風’という言葉の解説も交えながら、歴史と事業の経過と実態が少しでもうまく伝わるように、言葉足らずを補いつつ丁寧に語ることを心掛けた。

取材者は2名、担当事務局の方とプロのライター（文章を書く人）。取材の専門家である二人は、不慣れな我々を見透かしたかのようにポイントを絞った質問を投げ掛けられる。とともに、うなずきながら相槌を打たれる姿勢は、時々言葉に詰まる私を楽にさせうまく引き出してくれた。

聞きながら同時にメモをとるそのテキパキとした手際の良さに感銘を受けながら、予定していた時間は終了を迎える。

「うまく伝えることが出来たかな・・・」  
語り終えた満足感とともに、少しの不安がよぎった。

「あとはライターの腕を信じるのみ」  
下手な自身の話しを棚に上げ、その風貌と速記の素振りからかなりのベテランと察し、勝手な期待を高める。

校正を経て、10月下旬その冊子は届けられた。期待と不安が混じる中、ページをめくりながら一字一句読み返す。

出来栄えには思いはある。充実感は勿論、そのまとめ方には感服した。  
「恐るべし、プロのライター」

素人の書き手の一人として、又一つ学習した。



### 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| ○特別養護老人ホーム やすらぎ園 | ○ケアハウス やすらぎ    |
| ○在宅サービス事業所       | ○介護予防関連事業      |
| 居宅介護支援事業所        | ○グループホーム むつみあい |
| 訪問介護事業           | ○天理市ひとり暮らし     |
| 訪問入浴介護事業         | 高齢者世帯等見守り事業    |
| ○短期入所生活介護事業      | ○低所得高齢者等住まい・   |
| ○在宅介護支援センター      | 生活支援モデル事業      |
| ○天理市東部地域包括支援センター |                |